

## 令和6年度 国の予算・制度等に関する要望 実施報告

- 1 開催日時：令和5年10月4日（金）14：00～14：20
- 2 訪問先：自由民主党東京都支部連合会
- 3 参加者：梶山理事長、榎本副理事長、野口副理事長、横田幹事長、高橋事務局長

対応議員：衆議院議員 山田美樹、平将明、松島みどり、大西英男、井上信二、長島昭久  
参議院議員 丸川珠代、朝日健太郎、生稲晃子、片山さつき

最初に、梶山理事長から平将明政調会長に要望書が提出された。

その後、井上信二議員からの挨拶、政連理事長挨拶の後、政連側の要望説明が横田幹事長から行われ、以下の内容について意見交換を行った。

### 【意見交換】

（平議員）

所得の壁については、都連主導で行い、緊急避難として時限的に行っており、社会保障全体の仕組みの解消を行うために2年間で対策予定である。

人手不足について、既に苦しいと思うがこれからさらに深刻化すると推測される。外国人雇用も増えると思うが、技能実習含め要望等があればお伺いしたい。

（梶山理事長）

技能実習制度については特定技能の枠で多数の人材の活用を行っている。しかし、お客様であるオーナーからすると違和感を覚えられることもあるが、技能実習生は言葉の壁があるが、技能については全く問題ない。今後も外国人材の活用は必須になると考えている。法改正も含め、今後も業界にご配慮いただきたい。

（平議員）

他の業界でも外国人雇用についての要望があり、タクシー業界では2種免許取得の際に地理の試験があるとのこと。実務ではGPS等を活用しているのだから不要ではないかと。日本語の壁についても、スマホ持ち込み可等で、実務に即して対応できないかと考えているので、今後も現場からの声ということでお伺いできれば幸いです。

（片山議員）

警備業の場合、一定の警備業は外国人や無資格者に厳しい。安心・安全の度合いが高い部分に関しては必要かと思うが、全体的に厳格に扱っているがそれに対しては何か要望等はあるか。

(梶山理事長)

駐車場の誘導員等についても警備員の資格が必要か、必要ないかという話であれば、お客様であるオーナー次第で今も対応している。警察に代わる警備としての職種でございますので業務内容に応じたルールを制定いただくと助かります。

(横田幹事長)

先ほどの要望にある通り、裁判所の入札条件について A ランクの大企業は入札可能で B ランクの大企業は不可、B ランクの中小企業は可。という対応はおかしい。また、担当者もおかしいと考えているが、上からの通達だから対応できないという意見もいただいたことがある。現場ではどうしようもないのでご配慮いただきたい。

また、片山議員からお話のあった警備業の資格の有無についてはオーナー次第であり、住宅供給公社についても警備業の届け出は必要ですが、配置される人は警備員教育を受けていなくてもよいというお話もあるので、その部分をご調整いただければと存じます。

